

# 平成24年度（2012年）事業報告

（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

## 1. 試合の管理運営に関して

(1) 世界(男子 19/女子 9/ユース男子 2)、東洋太平洋(男子 21/女子 3)、日本(33)の別記タイトルマッチ及びその他合計 223 興行（1762 試合）の試合管理を行う。

(2) 選手、マネージャー、他ボクシング従事者に対する資格審査並びにライセンスの発給。

ライセンスの発行数 4,449 （内：外国人ボクサー186名）

(内訳) ボクサー(2,476 内女子 106名)、プロモーター(80)、クラブオーナー(286)、マネージャー(392)、トレーナー(593)、セコンド(414)、マッチメーカー(4)、レフェリー(87)、タイムキーパー(10)、アナウンサー(9)、ドクター(90)、進行(8)。

(3) プロボクサー新人テスト実施

《男子》受験者総数(C級)：768名	合格者：499名（合格率64.9%）
〃 (B級)：11名	11名（合格率100%）
《女子》受験者総数(C級)：30名	合格者：24名（合格率80.0%）
〃 (B級)：0名	0名

(4) 日本ランキング決定、発表（月例）

(5) 試合役員研修会（東京地区月日他原則毎月、他4地区は随時）  
採点基準、レフェリング（反則処置）、事故防止他。

## 2. 安全防護に関して

(1) J P B A ・ J B C 合同医事講習会（7月2日、於・後樂園展示会場）

〔講師〕 谷 諭 コミッショ ン Dr.（東京慈恵会医科大学・脳神経外科教授）  
「リング事故報告」及び「脳震盪とその対応」

大槻 穰治 コミッショ ン Dr.（東京慈恵会医科大学・救急部准教授）  
「スポーツにおけるメディカルチェック」

佐藤 順 コミッショ ン Dr.（駿河台日大病院救命救急センター室長）  
「スポーツ中の突然死・心肺停止」

J P B A ・ J B C 合同医事講習会が後楽園展示会場で開催された。5月5日に関西地区で起こったリング事故報告、並びに急性硬膜下血腫に至る過程の脳震盪などについて講義された。参加者 120 名。

(2) リング事故

寺田 允 (アポロ) : 5月5日淀川区民センターにおいて、土居祐介 (塚原京都) との8回戦で8ラウンドTKO敗後、急性硬膜下血腫にて開頭手術。

3. 国際交流について

(1) 国際会議に代表派遣

(a) W B A (世界ボクシング協会) 第91回年次総会

(10月28日～11月3日、インドネシア・ジャカルタ、スルタンホテル)

協議事項:

- \*役員改選
- \*メディカルセミナー
- \*オフィシャルミーティング
- \*ランキング委員会
- \*その他

(b) W B C (世界ボクシング評議会) 第50回年次総会

(12月3日～12月7日、メキシコ・カンクン オアシスホテル)

協議事項

- \*役員改選
- \*W B C ワールドカップについて
- \*ボクサーの国際ビザの導入
- \*指名試合
- \*オフィシャルセミナー (レフェリー及びジャッジミーティング)
- \*その他 (2013年開催国は総会時点では未定)

(出席者) J B C 関係 : 森田健事務局長 浦谷信彰 福地勇治

J P B A 関係 : 本田明彦 (帝拳)、ジョー小泉 (リングジャパン)  
鈴木正臣 (角海老宝石) 他

(c) O P B F (東洋太平洋ボクシング連盟) 51回年次総会

(12月4日、W B C 総会同所)

- \*各種報告
- \*フリーディスカッション

(2) その他

(a) W B A、W B C、O P B F、並びに各国コミッション関係者との交流(役員来

日時随時)

(b)海外でのタイトルマッチに役員派遣(内訳:WBC 3名、WBA 2名、OPBF 3名)

(c)国際問題の処理について

(3)海外遠征並びに来日選手の各種試合契約の承認について

#### 4. ボクシング功労者の表彰について

(1)2012年度プロ・アマ年間優秀選手表彰式。

1月25日東京ドームホテル(2013年1月7日選考)

プロの部10部門(15名) アマの部6部門(10名)

(2)世界王者獲得並びに各種チャンピオンの引退、他功労表彰について。

[引退]

\*元WBA世界スーパー・フライ級チャンピオン 清水智信(金子)引退。

\*元日本ライト級チャンピオン 嶋田雄大(ヨネクラ)引退。

\*元OPBFスーパー・バンタム級チャンピオン 大橋弘政(HEIWA)引退。

\*元WBC世界スーパー・バンタム級チャンピオン 西岡利晃(帝拳)引退。

\*元WBC女子世界ライト・フライ級チャンピオン 富樫直美(ワタナベ)引退。

\*元OPBF女子フライ級チャンピオン 四ヶ所麻美(フラッシュ赤羽)引退。

[獲得]

\*WBC世界スーパー・フライ級チャンピオン 佐藤洋太(協栄)獲得

\*WBA女子世界スーパー・フライ級チャンピオン 山口直子(竹原&畑山)獲得

\*WBC世界フライ級チャンピオン 五十嵐俊幸(帝拳)獲得

\*WBA世界ライト・ミニマム級チャンピオン 宮尾綾香(大橋)獲得

\*WBC世界スーパー・フライ級チャンピオン 河野公平(ワタナベ)獲得

\*WBA世界ミニマム級チャンピオン 宮崎亮(井岡)獲得

\*WBA世界ライト・フライ級チャンピオン 井岡一翔(井岡)獲得

(3)JBC試合役員等功労表彰

#### 5. 機関誌の発行について

(1)ボクシング広報(月刊)

(2)ボクシング年鑑

6. 選手記録(戦績、診断の両記録カード)、ボクシングに関する資料の収集、作成並びに保存(継続)

#### 7. その他

(1) (財) 日本ボクシングコミッション 第35回定例理事会・実行委員会 (2月28日、後楽園飯店)

- (a) 2012年度事業報告、同収支決算報告承認
- (b) 2013年度事業計画、同収支予算承認
- (c) 新公益法人移行について

(3) 物故者

- (a) 桜井孝雄 (ONE・TWO スポーツジム会長) 1月10日死去 (70歳)
- (b) 内田正一 (元JBC試合役員会会長) 4月14日死去 (73歳)
- (c) 山本末廣 (元中外ジム会長) 4月16日死去 (67歳)
- (d) 石井広三 (KOZO ジム会長) 7月5日死去 (34歳)
- (e) 益戸久尚 (日東ジム会長) 7月8日死去 (81歳)
- (f) 三平勇 (極東ジム会長) 11月11日死去 (77歳)

(4) 紛争処理

(5) JBC/JPBA (ボクシング協会) 合同会議

(6) アマチュア関係者との協議

年間優秀選手表彰選考。アマチュアとの交流について。

(7) 処分

- (a) 坂本基歳 (井岡：マネージャー) 厳重注意処分 (5月31日付)  
平成24年4月30日堺市民会館において酔った観客の暴言に腹を立て乱闘騒ぎを起こした。このことはボクシング界の社会的信用を著しく貶める結果となった。
- (b) 井岡弘樹 (井岡：クラブオーナー) 口頭による厳重注意処分 (5月31日付)  
前項(a)の事案につき、管理監督すべき立場にあるクラブオーナーに対し注意喚起するもの。
- (c) 畠山昇 (全日本パブリック：トレーナー)  
平成24年6月22日よりトレーナーライセンスの6ヶ月停止処分 (6月22日付)  
試合終了後、畠山はレフェリーの裁定を不服とし、観客の注目するリング上でレフェリーを突き飛ばす行為に及び、スポーツとしてのボクシングの信用を著しく貶めた。
- (d) 田中敏朗 (全日本パブリック：クラブオーナー) 厳重注意処分 (6月22日付)  
前項(c)の事案につき、クラブオーナーとしての監督責任は免れない。
- (e) 林隆治 (マッチメーカー)  
8月13日よりライセンス無期限停止処分 (8月17日付)  
林隆治マッチメーカーは、JBCの元職員と共謀し、事業において競合する別団体乃至会社の設立を図るなど、ボクシング界の秩序、風紀を乱したことによる。
- (f) 瀬端幸男 (reason：クラブオーナー)  
平成24年8月10日、瀬端幸男 (reasonジム) は東京地裁より強姦未遂

罪にて懲役2年4月の実刑判決を受けた。このことはボクシング界の社会的信用を著しく貶める結果となった。